

## 学則変更の趣旨等を記載した書類

### 目次

ア 学則変更（収容定員変更）の内容	2
イ 学則変更（収容定員変更）の必要性	2
ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程の変更内容	3
エ 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画	3
オ 大学設置基準第25条の4の規定に基づき授業の一部をサテライト キャンパス等の校舎以外の場所で行う場合の具体的計画	3

### 添付資料

心理学研究科（博士前期課程） 発達・学校心理学専攻の教育課程等の概要

## ア 学則変更（収容定員変更）の内容

京都ノートルダム女子大学大学院心理学研究科（博士前期課程）には、発達・学校心理専攻と臨床心理学専攻を設置するが、発達・学校心理学専攻について、令和3年度から学生募集停止をしたため、同専攻の収容定員（入学定員）を、10人（5人）から0人（0人）とする。

このため、心理学研究科の収容定員（入学定員）を、以下のとおり変更する。

研究科	専攻	定員	変更前	変更後
心理学研究科	発達・学校心理学専攻 （博士前期課程）	入学定員	5人	—人
		収容定員	10	—
	臨床心理学専攻 （博士前期課程）	入学定員	10	10
		収容定員	20	20
	心理学専攻 （博士後期課程）	入学定員	4	4
		収容定員	12	12
計	入学定員	19	14	
	収容定員	42	32	

よって、大学院全体の収容定員（入学定員）は、以下のとおりとする。

研究科	専攻	定員	変更前	変更後
人間文化研究科	応用英語専攻	入学定員	8人	8人
		収容定員	16	16
	人間文化専攻	入学定員	3	3
		収容定員	6	6
	生活福祉文化専攻	入学定員	6	6
		収容定員	12	12
心理学研究科	発達・学校心理学専攻 （博士前期課程）	入学定員	5	—
		収容定員	10	—
	臨床心理学専攻 （博士前期課程）	入学定員	10	10
		収容定員	20	20
	心理学専攻 （博士後期課程）	入学定員	4	4
		収容定員	12	12
計	入学定員	36	31	
	収容定員	76	66	

## イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

心理学研究科（博士前期課程） 発達・学校心理学専攻は、受験者・入学者ともに減少してきたため、平成30年度に定員変更（減少）したが、令和2年度までに、なお定員を満たせず充足率も低い。このため、教育・研究の効果・効率化の面で支障が出てきており、今後においても受験者及び入学者の増加は見込めないと判断し、同専攻の学生を募集停止した。

このため、大学院心理学研究科の収容定員を変更するものである。

**ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程の変更内容**

心理学研究科（博士前期課程） 発達・学校心理学専攻は、在校生が修了するのを待って、廃止する予定であり、教育課程の変更は該当しない。

なお、心理学研究科（博士前期課程）には、別に臨床心理学専攻があり、発達・学校心理学専攻の一部の研究分野は、臨床心理学専攻の設置の趣旨・目的内において行うこととし、心理学研究科全体の教育・研究の活性化及び効率化を図ろうとするものである。

**エ 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画**

学生募集を停止するものであるため該当なし

**オ 大学設置基準第25条の4の規定に基づき授業の一部をサテライトキャンパス等の校舎以外の場所で行う場合の具体的計画**

学生募集を停止するものであるため該当なし

教育課程等の概要												
(心理学研究科 発達・学校心理学専攻(博士前期課程))												
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	行動科学特論	1・2前		2		1						兼1 兼1 兼1
	認知機構特論	1・2前		2		1						
	心理統計学特論(多変量解析)	1・2後		2								
	心理統計学特論(少数例統計)	1・2後		2								
	心理学研究法特論	1・2前		2								
	小計(9科目)	—	0	10	0	1	0	0	0	0	兼2	—
専門科目	発達心理学特論	1・2後	2			1						集中  集中
	学校心理学特論Ⅰ(学習心理)	1・2後	2			1						
	学校心理学特論Ⅱ(教育特論)	1・2前		2		1						
	青年心理学特論	1・2後		2		1						
	社会調査演習	1・2後		2		1						
	教育方法学特論	1・2後		2		1						
	教育・心理検査特論	1・2前		2		1						
	臨床発達心理学実習Ⅰ	1通		4		1	1					
	臨床発達心理学実習Ⅱ	2		4		1	1					
	学校臨床心理学実習	1・2後		1			1					
	特別支援アセスメント実習	1・2前		1			1					
	小計(11科目)	—	4	20	0	4	1	0	0	0	—	—
関連科目	老年心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開b)	1・2後		2		1						兼1 集中  兼1 兼1
	人格心理学特論	1・2前		2			1					
	発達臨床特論	1・2前		2								
	社会心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開a)	1・2前		2				1				
	精神医学特論(保険医療分野に関する理論と支援の展開a)	1・2前		2		1						
	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1・2前		2								
	健康心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)	1・2後		2								
	算数教育特論	1・2前		2		1						
	体育教育特論	1・2後		2				1				
	教科教育演習(算数)	1・2後		2		1						
	教科教育演習(体育)	1・2後		2				1				
	小計(11科目)	—	0	22	0	3	1	2	0	0	兼3	—
演習科目	発達・学校心理学専門演習Ⅰ	1前		2		4	2	1				集中
	発達・学校心理学専門演習Ⅱ	1後		2		4	2	1				
	発達・学校心理学専門演習Ⅲ	2前		2		4	2	1				
	発達・学校心理学専門演習Ⅳ	2後		2		4	2	1				
	特別研究			4		4	2	1				
	小計(5科目)	—	0	12	0	4	2	1	0	0	—	—
総合計(36科目)		—	4	64	0	4	2	1	0	0	兼5	—
学位又は称号	修士(心理)		学位または研究科の分野			文学関係						
修了要件及び履修方法												
①基礎科目から6単位以上 ②専門科目から8単位以上 ③専門科目群、関連科目群及び他研究科・他専攻の科目から4単位以上 ④演習科目群12単位												